

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公表番号】特表2013-524648(P2013-524648A)
 【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)
 【年通号数】公開・登録公報2013-031
 【出願番号】特願2013-502898(P2013-502898)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/04 (2009.01)

H 0 4 W 28/16 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/04 1 1 0

H 0 4 W 28/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月1日(2014.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のホップ上に第 1 のデータを備える第 1 の送信を受信し、第 2 のホップ上に第 2 のデータを備える第 2 の送信を受信し、デコードのために前記第 1 の送信及び前記第 2 の送信から前記第 1 のデータと前記第 2 のデータとを結合し、前記第 1 の送信および前記第 2 の送信に対する H A R Q フィードバックを送信するように構成されたプロセッサを備え、

前記 H A R Q フィードバックは、次の基地局及び中継ノードの 1 つ又は複数によりオーバーハードされかつデコードされるように構成されたことを特徴とするワイヤレス送受信ユニティ (W T R U)。

【請求項 2】

前記第 1 の送信は前記基地局からであることを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 3】

前記第 2 の送信は前記中継ノードからであることを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 4】

前記 H A R Q フィードバックは前記基地局に送られることを特徴とする請求項 2 に記載の W T R U。

【請求項 5】

前記基地局に送られた前記 H A R Q フィードバックは、前記中継ノードによってオーバーハードされ、デコードされることを特徴とする請求項 4 に記載の W T R U。

【請求項 6】

前記第 2 のデータは、前記第 1 のデータ内に含まれたデータの一部を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 7】

前記第 1 の送信に対する第 1 の H A R Q エンティティ、および前記第 2 の送信に対する第 2 の H A R Q エンティティを有するようにさらに構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 8】

前記第 1 の送信および前記第 2 の送信に対して H A R Q エンティティを予約させるようにさらに構成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の W T R U。

【請求項 9】

前記中継ノードが第 2 の W T R Uであることを特徴とする請求項 3 に記載の W T R U。

【請求項 10】

ワイヤレスシステム内の協調送信のための方法であって、
第 1 のホップ上に第 1 のデータを備える第 1 の送信を受信することと、
第 2 のホップ上に第 2 のデータを備える第 2 の送信を受信することと、
デコードのために前記第 1 の送信及び前記第 2 の送信から前記第 1 のデータと前記第 2 のデータとを結合することと、
前記第 1 の送信および前記第 2 の送信に対する H A R Q フィードバックを送信すること
と

を備え、

前記 H A R Q フィードバックは、次の基地局及び中継ノードの 1 つ又は複数によりオーバーハードされかつデコードされるように構成されたことを特徴とする方法。

【請求項 11】

前記第 1 の送信は第 1 の H A R Q エンティティを使用し、前記第 2 の送信は第 2 の H A R Q エンティティを使用することを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 の H A R Q エンティティを前記第 2 の H A R Q エンティティと調整すること
をさらに備えることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 1 のデータおよび前記第 2 のデータを共同でデコードすること
をさらに備えることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 2 のデータは、前記第 1 のデータに含まれたデータの一部を備えることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

ワイヤレス送受信ユニットによって実施されることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

進化型 N o d e B によって実施されることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 17】

第 1 の H A R Q エンティティにおいて第 1 のデータを備える、第 1 のホップ上に第 1 の送信を受信し、第 2 の H A R Q エンティティにおいて第 2 のデータを備える、第 2 のホップ上に第 2 の送信を受信し、前記第 1 の H A R Q エンティティを前記第 2 の H A R Q エンティティと調整し、H A R Q フィードバックを送信するように構成されたプロセッサ
を備え、

前記 H A R Q フィードバックは、次の基地局及び中継ノードの 1 つ又は複数によりオーバーハードされかつデコードされるように構成された
ことを特徴とするワイヤレス送受信ユニット (W T R U)。

【請求項 18】

前記プロセッサは、前記第 1 のデータと前記第 2 のデータが共同でデコードされるように、前記第 1 の H A R Q エンティティを前記第 2 の H A R Q エンティティと調整するように構成されたことを特徴とする請求項 17 に記載の W T R U。

【請求項 19】

ダウンリンク制御情報 (D C I) を受信するようにさらに構成され、前記 D C I は、送信を中継ノードと調整することに関する制御情報を含むことができることを特徴とする請求項 17 に記載の W T R U。

【請求項 20】

前記中継ノードは、基地局からクロスリンク制御情報を受信することを特徴とする請求項 19 に記載の W T R U。